

【渋谷区教育委員会 教育目標】

- 人を大切にし、互いの違いを認め合う人間
- 主体的に学び続け、他者と協力して新しい価値を創造する人間
- 思いやりと規範意識をもち、健康で心身ともにたくましい人間

【笹塚中学校 教育目標】

- 自律 学び方を習得させることによって学ぶことの楽しさを知り、生涯にわたって自ら学んでいくことのできる主体性を育成する。
- 協働 考えを出し合うことでよりよい答えをつくることができること、多様な考えが統合されて新しい考えが創出されることを習得させることで協働性を育成する。
- 参画 自分の特性を知り、その特性を活かして社会に参画する力(「ちがいをちがいに活かす力」)を育成する。

新たな学びの実現 探究学習の推進

- 【R5年度渋谷区 ICT 教育推進校】【R5年度渋谷区研究指定校】
- 【R5年度文科省一人一台端末リーディング事業】
- 【R5・6年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校】
- 「学力向上を図る全体計画」に基づく計画的実施
- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
 - 主体的に学習に取り組む態度の醸成
 - ★ICTの効果的な活用・デジタルスキルアップ 教育の推進→授業 DX
 - 授業スタイルの確立(ねらい・考える場面・協働学習・振り返り・家庭学習)
 - 情報活用能力・言語能力・問題発見解決能力の育成
 - 「分かる授業」「探究的な学び」の確立
 - 年2回の授業アンケート:授業が分かりやすい:80%以上
- 学習習慣の定着(家庭学習なし:2.3%→0%)・家庭学習への支援
 - 丁寧な評価説明(個人内評価の充実・個別最適化・評価基準の明確化・評価説明資料の活用)
- 学習の振り返りによる学習意欲の向上
- 鋭敏な人権感覚を醸成する教育活動の推進 道徳教育の充実
 - 人間尊重の精神 自尊感情の醸成 多様性の尊重
 - 人権教育プログラムを活用した人権課題への取組
- 地域等との連携による体験を通した学び:シブヤ未来科推進
 - 地域防災 地域の活性化 地域応援プロジェクト 町会長会議等
- 読書活動の充実:「しぶやおすすめの本50」活用・「笹中の50冊」選定
- 学習機会の拡充→補充教室(定期考査前・夏季休業)等の組織的な実施
 - 各補充教室等の参加率:対象生徒の60%以上
- 放課後学習→週4回(月・火・木・金)放課後図書室開放

特色ある教育活動の推進

- <生徒の主体性の涵養>
- 生徒の主体性の涵養:生徒会・委員会活動(特別活動 DX)
- <キャリア教育の充実(一人一人のキャリア形成と自己実現)>
- 「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成
- 学習指導:各教科等を通したキャリア教育の実践
- 進路指導:職業調べ・職場体験(事前学習・事後学習)・上級学校調べ・上級学校訪問・高校の先生による出前授業
- 生活指導:挨拶・礼儀・マナー・時間を守る・規範意識の醸成
- 体験活動の充実:出前授業、もみ蒔き・田植え・稲刈り・餅つき等
- <小中連携による効果的な教育課程の編成・実施>
- 「学力向上」に特化した連携教育活動の実現
- 小中合同研修会(前期:中学校、後期:小学校)の充実
- 中学校体験の充実 — 体験授業(6月)・部活動体験(6月)
- ボランティア活動の展開

【目指す学校像】

- 「安心して通わせられる学校」
 - <安全で快適な教育環境を提供>
- 「確かな学力と社会性を身に付けさせてくれる学校」
 - <公立学校の使命を確実に果たす>

【目指す生徒像】

- 「3つの顔」(笑顔・真剣な顔・誇らしい顔)の実現
- 確かな学力と豊かな個性をもった生徒
- 思いやりの心と規範意識をもった生徒

【目指す教師像】

- 笹塚中を愛する教師
- 一時間一時間の授業を大切にしている教師
- 生徒一人一人を大切にしている教師

経営理念

— 公立学校は地域の財産である —

- ◆ 学校の教育活動に対する生徒・保護者の満足度
 - 「笹塚中生でよかった・笹塚中に通わせてよかった」
 - <関係者評価—肯定的な評価(80%以上):全項目達成>
- ◆ 地域からの信頼度
 - 多くの小学生が入学してくる学校
 - <関係小学校からの入学率:65%以上>

校務 DX(働き方改革)の推進

- 円滑な校務運営の実現と組織的な対応力の向上—
- ◆ 基本的な考え方:職層と職責の整合性
 - 主幹・主任会議の毎朝開催
 - 運営委員会の充実 — 調整機能の発揮
 - 起案日程一覧に基づく進行管理
 - OJT実施体制の確立 → 教員の力量形成・職能向上
- ◆ ICT教育推進校として学校DXの推進(校務DX:働き方改革)
 - 業務の効率化 会議等の精選 ペーパーレス化 出退勤管理等

安全・安心に挑戦できる環境の整備

- <社会性の確立>
- 集団生活における基本的なルール指導の徹底
 - 「ルールがマナーになる学校」の実現
 - 「自ら考えて行動できる生徒」の育成
- 基本的な生活習慣の確立
 - *挨拶キャンペーン ← 小学校・地域・PTAとの連携
 - 校長による全校生徒面談 → 生徒の現状把握・経営課題の把握
 - いじめに関する対応 <発生件数ゼロを目指して>
 - いじめ防止基本方針(未然防止・早期発見・事実確認・早期対応の徹底)
 - 生徒会によるいじめ撲滅活動
 - *いじめに関するアンケート(年3回) *SOSの出し方教育
- 新しい生活様式 → 新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底 <特別支援教育の充実>
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の確立
 - 校内委員会(月1回)の充実と全教員の情報共有・共通実践
- 「個別指導計画」の作成と活用
 - 支援を必要とする生徒の把握と支援の充実(年間)
- 特別支援教室や教育相談室との連携強化
- SC・支援員・SSW等との連携と効果的な活用→教育相談体制の充実 <安全指導>○校内の危険箇所等の点検と整備
 - 校舎内の安全点検(毎日放課後・全教員)
- 危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成 — 体験型セーフティ教室の実施(5月)
- 年間計画に基づく安全指導を展開
 - 体験的な内容を取り入れた避難訓練を実施(毎月)

コミュニティ・スクールの推進

- 説明責任・結果責任を果たす透明性の高い学校経営—
- 社会に開かれた教育課程 — 地域・保護者ととともに—
- 公開土曜日(年11回)+保護者会等の内容充実
 - 公開日の内容・時程等の工夫 <保護者参加率:前年度比50%増>
- 保護者対象の関係者評価:90%以上回収(学校DX:formsで実施)
 - 学校経営の見直し・改善に活用 <全項目肯定的評価(80%以上)>
- 地域貢献活動(奉仕活動)の更なる推進
 - 「地域に親しまれ愛される生徒」の育成 *地域防災訓練(11月)
- 町民大運動会・笹塚フェスティバルを学校行事として実施(ねらいの明確化)
- CS(学校運営協議会)充実:年5回 生徒の参加 協議会形式
- 地区委員会との連携:毎月管理職・生活指導主任の出席
- 道徳授業地区公開講座の充実(7月)
 - <地域・保護者の参加率:前年度比50%増>
- PTA運営委員会の充実 — 学校情報の提供